

## 平成29年度第2回福井県長寿医療運営懇話会概要

日 時 平成29年12月21日（木）午後1時30分～2時50分

場 所 福井県自治会館 2階 202・203研修室

出席者 齋藤会長、五十嵐副会長、重久委員、浅野委員、加畑委員、木村委員、奥西委員、小川委員

事務局 大石事務局長、塚田事務局次長、高谷業務課長 他6名

### 1 協議事項

- (1) 平成30・31年度保険料率の試算（案）について……………資料1により事務局説明（課長）
- (2) 保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）（素案）について  
……………資料2により事務局説明（課長）

### 2 その他

## 協議事項に対する質問・回答・意見

### 【平成30・31年度保険料率の試算（案）について】

【委員】 保険料率の上昇は大きくないが、被保険者の立場になった時、保険料率が膨れ上がることに  
に対する反応というのを予想しているのか。

〔事務局〕 特にそういった声は聞いていないが、機会があれば聞いてみたいと思う。

【委員】 基金の担保もいたしかたないと思う。保健事業実施計画の6ページに各市町の75歳以上  
人口が記載されているが、75歳以上が多くても人口が少ないというものもあるので、そう  
いうことも鑑みながら検討してほしい。

### 【保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）（素案）について】

【委員】 新規事業の中に低栄養防止を挙げているが、低栄養はどういう人がどういった原因で起  
っているのか説明願いたい。

〔事務局〕 病気で医療機関に掛かっている人は栄養状態も分かるが、医療機関に掛からない人はどの  
くらい痩せているか分からないため、把握しきっていない。被保険者が健康診断を受けて  
いただければその段階で把握できるが、説明しているとおり健診の受診率が20%程度し  
かない。一番いいのは、ある一定の年齢で全ての人が健康診断を受けてもらうことが理想  
的だと思うが、なかなかそうもいかない。これから服薬や訪問指導を行っていく中で、そ  
ういう人達の掘り起こしをやっていきたい。また、介護関係とも連携をとりながら、そ  
ういう人達と接触していくような形をとっていきたい。

【委員】 健診率は後期高齢者の健診率か。

〔事務局〕 はい。

【委員】 健診について、年齢別の健診率など何か分かるような資料はないのか。

〔事務局〕 69ページに健診データの分析結果を掲載している。

【委員】 健診に行く人は決まっている。だから、健診に出てこられない人を把握して、そういった  
人に健診を受けてもらえるような方策を考えてもらえればありがたい。また、先ほど低栄  
養の話が出たが、私たち老人クラブにとっても大きな問題と捉えている。高齢者の一人暮

らしや、高齢者のみの世帯になると、買い物もあまり行けないため、家にある簡単なもので食事を済ませてしまうことになる。そうしたことから、こういった人にも目を向け、栄養士の指導などを行ってもらえればと思う。

【委員】 健診率のところに男性の受診率が高いと書いてあるが、何が原因か。

〔事務局〕 理由はよく分からないが、行きづらいということや、高齢の女性が車の免許を持っていない、なのかと思う。

また、先ほど高齢者の一人暮らしの人などが低栄養になりやすいという話があったが、新しい事業の中での服薬指導や重複頻回指導と併せ、ある程度の家や集落を周ってもらわなければいけないと思っている。こうしたことで、地区の区長などから情報収集をしながら、栄養士や保健士などが高齢者の一人暮らし世帯などを訪問して、アドバイスや支援ができる形をとっていければと思っている。また、そこまで発展できれば、地域包括ケアという形に結びついていくのかと思う。健診についても、なかなか受診してもらえないので、例えば地区の敬老会の日に健診車を出すなど、市町にお願いしているところでもある。

【委員】 医療費抑制ということでジェネリックの推進をしていると思うが、そういった意味でも新規の訪問服薬指導事業の中に、残薬を明記したほうがいいのか。

〔事務局〕 計画の中に入れて考えたい。

【委員】 薬剤師会では、おくすり教室という出前講座をやっている。話を持ってきてくれたら、さらに推進できるのではないかと思う。

〔事務局〕 協力をいただいて進めていきたい。

【委員】 85ページの個別事業の目標値に数値が入っているが、どういう方法で算出したのか。

〔事務局〕 重複・頻回受診者訪問指導事業については、実績の44人から倍増させるということで、平成30年度では100人とした。訪問歯科健診・口腔ケア指導事業については、要介護3以上で年齢が77歳から85歳の約1,000人が対象。県内で施設に入所している人は対象外。平成30年度は、受診率を考慮し対象者の10%の100人とした。訪問服薬指導事業については、重複頻回の傾向と服薬の傾向が同じではないかという仮定し100人とした。平成34年度では人数を増加したいということで200人としている。

【その他】

- 【委員】県内には約10,000人のシルバー人材センターの登録会員がいる。そういったいろんな団体にアプローチし、協力、連携しながら効果的に健診の啓発ができないかなと思う。
- 【委員】各シルバー人材センターでは、入会の時に健診を受診することとしているところもある。シルバー人材センターとしても、健診について協力したい。
- 【委員】市町を通じて健診事業の出前講座を実施してもらえると、健診の啓発になるのではないかなと思う。